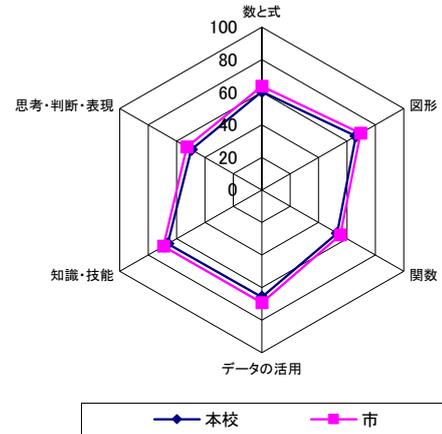


宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	60.4	63.7	61.5
	図形	66.3	69.6	61.1
	関数	53.1	55.4	43.5
	データの活用	65.8	69.3	64.2
観点別	知識・技能	66.2	69.2	65.3
	思考・判断・表現	49.6	52.9	42.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<p>平均正答率は、参考値を1.1ポイント、市平均を3.3ポイント下回っている。</p> <p>○累乗を含む正負の数の除法や、1次式の減法などの基本的な計算問題においては、市の平均を上回っている。</p> <p>●$(x+a)^2$の公式を使った展開や、$(x+m)^2=n$の形の二次方程式を解くこと、正負の数を利用した平均について説明する問題において市の平均を下回っている。</p>	<p>・乗法公式や、平方根の考え方が定着しておらず、2次方程式を解くことができていないので、演習問題を通して理解を深め、定着を図っていく。</p>
図形	<p>平均正答率は、参考値を5.2ポイント上回り、市平均を3.3ポイント下回っている。</p> <p>○三角形を平行移動させた図を選ぶ問題や、証明の必要性和意味についての問題においては、市の平均を上回っている。</p> <p>●三角形の合同を証明する問題において、示された内容の根拠となる図形の性質についての理解や、三角形の合同条件についての問題において、市の平均を下回っている。</p>	<p>・証明の理解を深めるためには、結論から逆算して、どのような定理や性質を使えば説明できるかを筋道を立てて考えることが必要となる。問題を穴埋め形式にして、証明の仕方の形を押さえるとともに、覚えるべき定理や性質を再確認し、定着させていく。</p>
関数	<p>平均正答率は、参考値を9.6ポイント上回り、市平均を2.3ポイント下回っている。</p> <p>○座標軸上に頂点をもつ三角形の面積を求める問題や、エアコンを購入したときの、使用時間と総費用の関係を表す問題において、市の平均と同等または上回っている。</p> <p>●問題の条件に合う点の座標を求める問題や、2元1次方程式のグラフの形についての問題において、市の平均を下回っている。</p>	<p>・関数では、比例・反比例(1年)、1次関数(2年)、$y=ax^2$(3年)の内容を学習するが、どれも共通して、条件に合う式を求めたり、グラフや表から式を求めたりする内容となるので、それぞれの特徴を押さえつつ、考え方を定着させていく必要がある。</p>
データの活用	<p>平均正答率は、参考値を1.6ポイント上回り、市平均を3.5ポイント下回っている。</p> <p>○大小2つのさいころを投げたときの確率を求める問題において、市の平均を上回っている。</p> <p>●箱ひげ図と四分位範囲についての問題や、箱ひげ図からデータの分布を読み取る問題において、市の平均を下回っている。</p>	<p>・資料の活用は、代表値(平均値、中央値、最頻値)の特徴をとらえ、どういう場合に使うことが効果的かを再度確認する必要がある。また、相対度数やヒストグラム、箱ひげ図など、知識として知っておかなければならない内容が定着できていないので、演習を重ね定着させていく。</p>